

藤嶺藤沢高校だより 9月号

藤嶺学園藤沢高等学校 〒251-0001 藤沢市西富 1-7-1
TEL 0466-23-3150 <https://www.tohrei-fujisawa.ed.jp/>
(文責：高校教頭 香西義之)

2026年9月15日(火)発行

【9月11日 慰霊祭】

毎年秋の開山忌の時期に行われる「慰霊祭」の正式名称は「藤嶺学園関係物故者追悼慰霊法要」です。慰霊祭は藤嶺学園三校（藤嶺藤沢・藤沢翔陵・鵜沼）が合同で行う唯一の行事で、三校の一年生が遊行寺本堂に集い厳粛に行われました。

法要終了後には「御賦算」がありました。「御賦算」とはお札配りのことです。そのお札には「南無阿弥陀仏、決定往生六十万人」と記されています。これは、お念仏を称えれば、阿弥陀仏の本願の舟に乗じて極楽浄土に往生できるという安心のお札です。一遍上人は熊野権現のご神託を受けたのち、このお札を25万人以上に配られたとの記録があるそうです。そこに書かれている六十万人とは、全ての人々（一切衆生）を指します。御賦算はお上人から直接いただけるという貴重な機会であり、今回いただいた、一遍上人から脈々と続くお札をぜひ大切にしたいと思います。



【全国の舞台で輝く藤嶺生 ヨット・鉄道模型・新聞で好成績】

この夏、本校の生徒たちがスポーツ、文化の両面で全国の舞台に挑戦し、素晴らしい成果を収めました。

まず、ヨット競技では高校2年の秋田海斗君が、和歌山セーリングセンターで行われた全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の男子ILCA6級で、見事全国4位入賞を果たしました。秋田君が本校から初めてヨット競技の県総体に出場したのは、まだ高校1年生だった去年のことです。関東大会への出場権は獲得したものの、インターハイ出場には届きませんでした。そこから一年。今春から着実に結果を残し、6月に山中湖で行われた関東大会では4位に入り、念願のインターハイ出場を決めました。

そして迎えた全国大会でも4位。さらに特筆すべきは、関東大会で上位4位までに入った加原弦季選手（関東学院六浦）、森郁人選手（関東学院六浦）、岩波将吾選手（ドルトン東京学園）、そして秋田君の4選手が、順位を一部入れ替えながら、そのままインターハイでも全国1位から4位までを占めたことです。全国トップレベルの選手がそろった厳しい環境の中でつかんだ4位であり、価値ある入賞となりました。

文化部も負けてはいません。

鉄道研究部は、8月7日から9日に開催された「第18回全国高等学校鉄道模型コンテスト全国大会」に出場し、ベストクリエイティブ賞を受賞しました。本校鉄道研究部は長年この全国大会への出展を続け、これまで何度も受賞を重ねてきました。今年もその伝統を受け継いでの受賞です。

今回の作品のテーマは、小田急小田原線の本厚木駅～厚木駅間に架かる相模川橋梁。あつぎ鮎まつり大花火大会をイメージし、浴衣姿の人々を配置するとともに、バックボードにLEDを組み込んで花火を表現するなど、アイデアと工夫を凝らした作品を制作しました。模型を精巧に作る技術だけでなく、一つの風景から物語を生み出す発想力が評価された受賞と言えるでしょう。

さらに、新聞部が発行する藤嶺藤沢新聞「大銀杏」も、「第3回全国高校新聞コンテスト」で部門賞の「情熱賞」を受賞しました。

今年のコンテストには全国116校から応募があり、高校新聞教育に携わる教員だけでなく、報道実務家や大学のジャーナリズム研究者らが審査を担当しました。その中で、日頃から校内外のさまざまな出来事に目を向け、自ら取材に出向き、記事を書き、紙面を作り続けてきた新聞部の活動が「情熱賞」という形で評価されました。

ヨット、鉄道模型、新聞——取り組んでいる分野はまったく異なります。しかし、そこには共通するものがあります。それは、「好きなこと、やりたいことを、とことん追究する姿勢」です。

全国の舞台で結果を残した今回の3つの活躍は、生徒一人ひとりがそれぞれの場所で自分の力を伸ばしていく、本校らしい学校生活の一面を示してくれました。

秋田君、鉄道研究部、新聞部の皆さん、おめでとうございます。

【オーストラリア・ニュージーランドの交流校が来校】

9月24日、オーストラリア・ケアンズのセント・オーガスティンズ・カレッジから23名、続いて28日にはニュージーランドのハミルトン・ボーイズ・ハイスクール、ハミルトン・ガールズ・ハイスクールから29名の生徒が、ジャパントアールの一環として本校を訪れます。いずれも、本校生の留学先として長年交流を続けている学校です。

特に今回ハミルトンから来校するのは、両校合同のカパハカチーム。ニュージーランドの先住民族マオリの伝統文化を歌や踊りによって表現するカパハカの名門チームで、全国大会でも毎回ファイナリストに進出するなど、高い評価を受けています。本校でも迫力あるパフォーマンスを披露してくれる予定です。

両校の生徒たちは、本校生がバディとなり、授業や茶道などの日本文化体験に参加します。昨年のタウランガ・ボーイズ・カレッジの来校に続き、海外で本校生を受け入れてくれる学校の生徒たちを、今度は私たちが藤沢で迎えます。

本校の国際理解教育が大切にしているのは、一方通行の「海外体験」ではなく、お互いの学校を訪ね、お互いの文化を伝え合う相互交流です。今回の来校も、生徒たちが異なる文化を身近に感じ、友情を育む貴重な機会となることでしょう。

【10月中旬までの主な行事予定について】

10月には高校2年生には研修旅行が控えています。それに伴い、高校2年生とそれ以外の学年は中間試験の日程が異なりますのでご注意ください。

中間試験日程～

高2 : 10月 1日(木)～10月 5日(月)

高1・3 : 10月 6日(火)～10月 9日(金)

※各学年試験前日は4時間授業

9/17(木) [高3] : 第一回ベネッセ駿台共通テスト模試 [高2] : 高大連携行事

9/18(金) [高3] : 共通テスト模試2日目 その他 : 総合学習

9/24(木) セントオーガスティンカレッジ来校

9/28(月) ハミルトン・ボーイズ&ガールズ KAPAHAKA チーム来校

9/30(水) 朝礼(終了後1時間目の途中から授業)

10/6(火)～10(土) [高2] 研修旅行(北海道・九州)

10/14(火) [高3] 第2回ベネッセ駿台記述模試